

伊集院保健所感染症情報

2026年第2週（令和8年1月5日～令和8年1月11日）

【お問い合わせ先】 ☎899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

管内流行発生警報発令中：インフルエンザ，A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点医療機関【インフルエンザCOVID2，小児科1，基幹定点1，ARI 2】

疾 患 名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第51週	第52週	第1週	第2週	先週からの増減	第1週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	182.00	155.50	89.50	89.00	↘	44.14	↘
インフルエンザ	30	10	10	137.00	69.50	37.00	26.50	↘	23.19	↘
COVID-19	—	—	—	0.00	1.00	1.00	1.00	→	0.32	↗
咽頭結膜熱	3	1	—	1.00	0.00	1.00	1.00	→	0.29	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	5.00	8.00	4.00	8.00	↗	1.26	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	0.00	0.00	1.00	2.00	↗	2.03	↘
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.48	↗
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	↘
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.35	↘
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	1.00	0.00	↘	0.10	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→
R S ウイルス感染症	—	—	—	2.00	2.00	2.00	2.00	→	0.74	→
全数報告（カッコ内は本年の累積数）			百日咳1（1）							
※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし										

TOPIC ノロウイルスの感染症・食中毒予防対策について

感染性胃腸炎の患者発生は、例年 12 月から 3 月頃にかけてピークとなる傾向があります。この時期に発生する感染性胃腸炎のうち、特に集団発生例の多くは、ノロウイルスによるものであると推測されております。

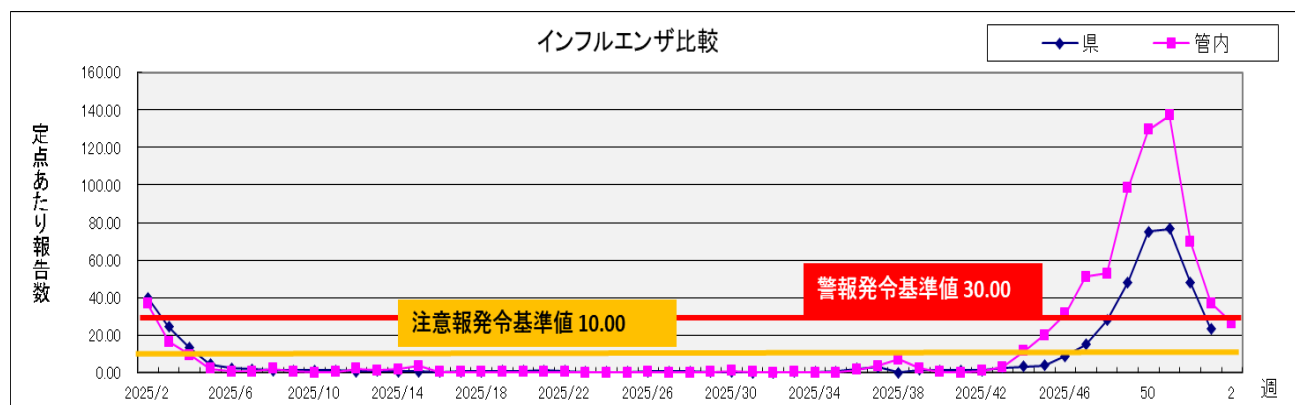
ノロウイルスによる感染性胃腸炎が急増するシーズンに備え、「ノロウイルスに関する Q&A」，「ノロウイルス食中毒予防対策リーフレット」，「ノロウイルス等の食中毒予防のための適切な手洗い（動画）」等を参考に、手指に付着しているノロウイルスを減らす最も有効な方法とされている石けんと流水による手洗いの徹底、糞便・吐物の適切な処理、調理従事者の健康確認等の感染予防対策及び食中毒予防対策に努めるようお願いします。

参考資料等 →



● 注意すべき感染症

・インフルエンザ（流行発生警報発令中）



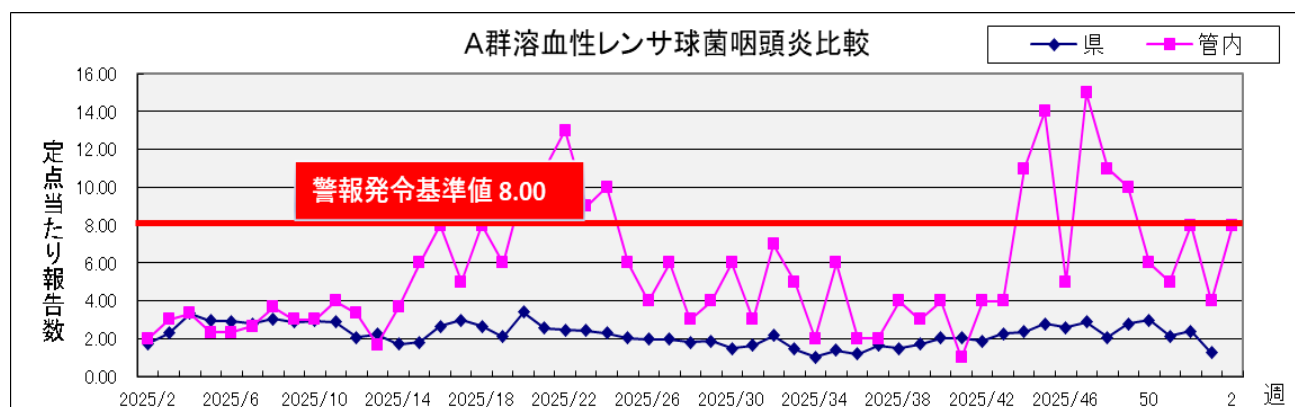
第2週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、1週の74人（定点当たり37.00）から21人少ない、53人（定点当たり26.50）です。

年齢別の報告では、4歳（7人）、5歳・6歳（各6人）、6～11カ月・7歳（各5人）、10～14歳（4人）、20～29歳・80歳以上（各3人）、1歳・8歳・50～59歳・70～79歳（各2人）、0～5カ月・2歳・3歳・9歳・15～19歳・60～69歳（各1人）でした。

インフルエンザは、発症すると38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあり、高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

予防法としては、普段から流水と石けんによる手洗いを行うこと、「咳エチケット」としてマスク等を着用すること、さらに十分な休養とバランスのとれた栄養を摂取することが挙げられます。

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（流行発生警報発令中）



第2週の伊集院保健所管内におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、8人でした。年齢別では、8歳（2人）、1歳・2歳・5歳・6歳・9歳・10～14歳（各1人）の報告でした。

感染すると、2～5日の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛で発症し、舌が莓のように赤くザラザラとした状態になることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。

患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 1/5～1/11（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、インフルエンザが21人（型不明17人、A型4人）、溶連菌感染症1人、COVID-19が2人報告されています。

疾患名 自治体名	インフル エンザ	インフル エンザA型	溶連菌 感染症	新型コロナ 感染症
日置市	13	1	1	0
いちき串木野市	3	2	0	2
三島村	0	0	0	0
十島村	1	1	0	0
計	17	4	1	2